

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

春の交通安全県民運動の期間中の4月14日の朝、上三輪連合町内会の役員さんと婦人部の人たちなど約40人で交通安全の啓発活動を行いました。



道行く車に交通安全を呼び掛ける

この交通安全運動を私たちは「三輪の力」と呼んでいます。地域内の道路の整備や4車線道路の完成により交通量が増加したことなどを機に、平成17年以降、毎年実施している活動です。

場所は、総社南高北交差点。「後部座席もシートベルト着用」「交通安全運動実施中」と書かれたのぼり旗や横断幕を持つ人、信号待ちのドライバーに啓発のちらしを手渡す人と、皆さんそれぞれに交通安全を呼び掛けました。

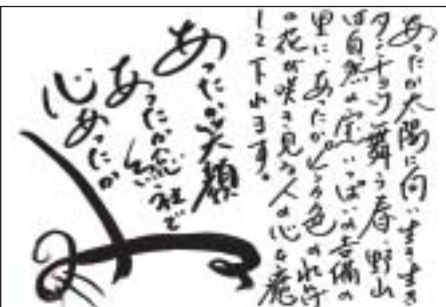
この時間帯は、ちょうど小学生の登校時間です。真新しいランドセルを背負い上級生と登校する新一年生に初々しさが感じ

られました。そんな姿を見ながら、一人ひとりが安全運転に気を付け、交通ルールとマナーを守り事故が起きないことを願って止みませんでした。

今後も、地域の交通安全のため、この活動を続けていきたいと思っています。(常盤地区市政モニター 来見田芳男さん(三輪))

ゴルフ大好き人間の主人に突然、狭心症が起これり、このままゴルフを続けると夏までの命の保障はない...と。即入

院で、手術名は、冠動脈バイパス手術。何時間にも及ぶ手術でしたが、術後3日目から歩行OKで、見る見る元気になる主人にびっくりでした。2週間もすると「帰るよ」「早く家に帰りたいよ」とメールして来るわがままぶりです。手術後19日で退院しました。私の見てきた医療現場は、医者とナースがてきぱきと何とすばらしいことかと、スタッフの皆さんのすばらしさに、新しい命をありがとう。感謝の気持ちでいっぱいです。(匿名)



金村辰子さん(総社)

↓点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

市 民 憲 章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。

1 生涯学び
明るい家庭をぎざぎざしましょう。

1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましょう。

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ

インタビュー
Interview



輝いている人

スマッシュやボレーが得意
堅実なプレイが身上だ

今年3月の都道府県対抗中学生ソフトテニス大会の男子個人で優勝したのが石井健大くん(3年生)だ。また、昨年は同大会で岡山県チームの団体優勝に大きく貢献した。

石井くんは2年続けて岡山県選抜チームのメンバーに選ばれている。今年の大いには、倉敷市の福田南中学校の今田くんとペアを組んで出場。「いつも平常心でプレイできる」。その言葉どおり、準決勝まで順調に勝ち進んだ。準決勝では、苦しいゲームをものにし、富山県のペアに4-3と競り勝った。「負けたくない一心で、ボールを追い掛けた」と振り返る。決勝で神奈川県のペアを4-1で破り、見事優勝した。

ソフトテニスを始めたのは、小学校3年の終わり。同級生に誘われ、総社ジュ

都道府県対抗中学生ソフトテニス大会で男子個人で優勝した

石井健大くん(久代)

ニアソフトテニスクラブへ入った。このころから前衛で、週3回欠かさず練習に通ったそうだ。中学生になった今も部活をしながら週2回通い、指導を受けている。「コーチには『サーブの打点は高く』と、よく言われる」とはにかむ。苦手のサーブの強化や、得意なスマッシュとボレーに日々磨きをかけている。

普段はおとなしい石井くんだが、試合になると一転俊敏にコートを走り回り存在感を示す。ミスの少ない堅実なプレイを身上とする。「スマッシュやボレーが決まり、試合に勝ったときが一番楽しい」と言う。より高いレベルのテニスを追い求め続ける石井くんの当面の目標は、今夏の全国大会での優勝。「夢は、国際大会でプレイすること」と目を輝かせて言う。